

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	101	事業名	認知症理解普及啓発事業		担当課		長寿課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-1-4 介護予防の推進		
			(中事業名) 介護予防の推進		決算書ページ		26 ~ 27		介護
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち					
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進					
		施策	(2)	介護予防の推進					
	その他	開始年度	平成30年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	介護保険法第115条の44第1項第2号から5号						
		関連計画	第9期高齢者福祉・介護保険事業計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 61,351		【アクションプラン指標】 認知症にやさしいお店店舗数 【累計】 【その他の指標】		認知症について正しい理解をし、認知症の方本人視点で考えられる人が増える。 (成果指標名) 認知症にやさしいお店の従業員の研修受講者数			
		【事業内容】 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る店舗等を増やします。				
				④最終成果 (大事業の将来像)					
				大 事 業 共 通 地域での認知症の方や家族に対する見守りや協力体制ができ、認知症の方が自分らしく地域で暮らしていくことができるようになる。					

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 認知症にやさしいお店店舗数【累計】	店舗	基準値	23	目標値	23	25	27	29	30	
					目標値	30	実績	28					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景		認知症の人や養護者（家族等）への効果的な支援体制を構築するとともに、理解していただくため、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活を継続することを目指して事業を実施している。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	市内ドラッグストア10店舗及び調剤薬局19店舗にアプローチし、普及啓発を行った結果、2店舗の調剤薬局で新規登録となり、調剤薬局2店舗、民間企業3店舗の合計5店舗の新規登録となった。				R 7						
		R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		認知症にやさしいお店の従業員の研修受講者数	人	年度	▶	R5 年度	▶	【現状】 R6 年度	▶	R8 年度	▶	R10 年度		
					424		443		455		459			
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					認知症にやさしいお店に登録する際のワンアクション研修を1店舗につき2名以上の受講をしてもらう。						
	評価の理由、分析													
	認知症にやさしいお店の登録は、認知症サポーター養成講座の受講者がいることを条件としているが、受講人数については定めていない。そのため、大型店舗については、複数人の受講者がいるが、個人の店舗等小型店によっては1名のみ受講となっている。受講者が不在の場合がないよう複数人の受講が望ましいと考えるため。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		A	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		引き続き、市内店舗へ認知症に優しいお店への登録をアプローチし、登録店舗数を増やし、市全体で認知症の方でも安心して買い物や用事等を済ませることができる環境を目指していく。									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		認知症にやさしいお店登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	市内薬局に加え、理美容店舗や銀行等にも認知症の取り組みについてのアンケートを実施する。 また、アルツハイマー月間等で普及啓発に取り組んでもらえるよう働きかける。								R7		
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			10,085	9,305	9,940	9,939	9,939	
		理由			特定 財 源	合計額	6,085	5,796	5,739	5,739	5,739
		共生社会の実現を推進するため、認知症基本法第21条において、認知症に関する普及啓発の推進が位置づけられているため。				(内 国費)	3,390	3,197	3,826	3,826	3,826
						(内 県費)	2,695	2,599	1,913	1,913	1,913
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0
						(内 その他)	0	0	0	0	0
		積算額			一般財源		4,000	3,509	4,201	4,200	4,200
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
認知症地域支援推進委託 9,939千円（9,940千円）											